

【令和2年度 東落合小学校 学校評価について】

昨年末に保護者や地域の学校関係者の皆様を対象に、学校評価アンケートを実施し、約75%にあたる275名の回答を得ました。今年度はコロナ禍の中、本校の教育活動について公開する機会を設定することが難しく、限られた情報の中でご意見をいただくことになりましたが、大変貴重なご意見を多数いただきました。ありがとうございました。

その中で、「子供は毎日ご飯を食べている」という項目について、ほとんどの家庭で「食べている」と回答していただいています。日頃から児童の健康に留意し、基本的な生活習慣を身に付けさせようと意識していただいていることに、改めて感謝申し上げます。また、「児童に自分から進んであいさつをするように指導している」という項目についても約9割の肯定的な意見をいただきました。PTAのあいさつ運動については、中止とする期間もありましたが、明るく元気な声であいさつを交わす児童の姿が多く見られたことにとてもうれしく思います。

「学校は、学習するときのルールやきまりを指導している」「学校は、生活面のルールやきまりを指導している」という項目で9割を超える肯定的な意見をいただきました。指導するべきところはしっかりと児童に伝え、指導していく姿勢を評価していただきました。しかし、授業の様子を実際に見ていただく機会が限られており、「分からない」という回答もありました。授業や生活の様子を分かりやすく伝わるような工夫をしていかなければならないと考えています。現在は学校便りや学年だより、学級だよりの発行、ホームページの更新等により情報発信しておりますが、今後、オンライン等ICT機器を活用しながら、セキュリティ面を確保し、保護者、地域の皆様と連携して教育活動を進める必要性を感じています。

さて、約3割を超える方々から課題に挙げていただいた点があります。家庭学習の時間の不足、学習した内容の知識・技能面の習熟不足です。昨年度も同様の課題が見られており、改善が図られなかった部分です。興味・関心を高め、主体的・対話的に学習に取り組み、深い学びを実現する授業展開も必要ですが、その前に「しっかりと話を聞くこと」「話していることを理解すること」や「基礎・基本的な学習内容を身に付けさせること」が必要です。授業では、教員や友達の意見、考えを聞き、自分の考えをもつ習慣を付けます。自由意見には「復習に力を入れてもらいたい」という声をいただきました。漢字や計算等、知識の習熟を図るためのドリル学習などを多く取り入れます。また、家庭と連携して家庭学習を確実にを行い、児童の力を高めてまいります。一人一台のタブレット端末の導入が来年度行われます。効果的な活用法について教員同士で研鑽を積み、さらに教員の指導力向上を目指します。児童に寄り添った指導の展開を行います。

また、学校の清掃、整備に課題があります。今年度予定していたトイレの様式化工事については新型コロナウイルス感染症の対応により、実施できませんでした。来年度に実施できるよう多摩市へ要望を出してまいります。自由意見の中に「トイレの全面洋式化を願うばかりです。」「子供がトイレに行くことを我慢している」といった声もいただきました。トイレ清掃については業者委託により実施しているところですが、そのみならず職員による日々の清掃業務を徹底します。校内の環境整備に取り組み、児童の学習環境の充実に努めてまいります。

今年度も保護者、地域の皆様には温かいご支援をいただきました。今回の学校評価でいただいた貴重なご意見を来年度に生かしてまいります。引き続き、ご支援とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

令和2年度 保護者 学校評価アンケート

